



古き良き
日本映画の
たたずまいを
彷彿とさせる
名作が誕生。

売れない映画監督タカシ。
四十路前の崖っぷち男に、
幸せは訪れるのか…？

作品介绍

売れない映画監督の渡辺タカシ（渋川清彦）は、大腸がんで入院していた兄のマサル（光石研）の看病という口実のもと群馬県玉村町にある実家に戻り、妻子と別居中。起死回生を狙って、これまた売れないシナリオライターで実家の焼きまんじゅう屋を手伝っている悪友の藤村（岡田浩暉）と新作のシナリオづくりをしているが、藤村は新しい彼女（後藤ユウミ）に夢中のような。あるとき、藤村に付き合わされた場でタカシは涼子（河井青葉）と出会う。なかなかの美人で性格もよさそうな涼子と兄を引き合わせようとするタカシだが、どうやら涼子はタカシに対し本気になっている様子……。そんななか、別居中の妻（渡辺真起子）から離婚したいとの申し出を受け、焦ったタカシは何とか妻の気持ちをつなぎとめようと映画の企画に必死になるがうまくいかず、それどころか涼子の前で酔っ払ってポロっと独身ではないことを言ってしまう…。四十路前の崖っぷち男に、幸せは訪れるのか？

出演：渋川清彦、光石研、岡田浩暉、河井青葉、渡辺真起子、田中要次、後藤ユウミ ほか
脚本：足立紳
監督：大崎章

【2015年/1時間47分/デジタル】 © 2015 映画「お盆の弟」製作委員会



大崎章監督「キャッチボール屋」×足立紳「百円の恋」 渋川清彦をはじめ、群馬出身のキャスト・スタッフが贈る、愛すべき男たちの物語。

チケット料金

[前売・インターネット予約]

1,000円 ※大人(中学生以上)のみ

※予約受付は2月12日(金)まで

www.tamaeiga.org/special/obonbrothers

[当日] **大人(中学生以上) 1,200円**

子ども(4歳~小学生) 600円

TAMA映画フォーラム支援会員 600円

障がい者とその付き添い者1名 各600円

前売チケット取扱所

※1月16日(土)前売チケット一般発売

●多摩市立永山公民館(祝日を除く9:00~17:00)

●多摩市役所売店「ひまわり」

●聖蹟桜ヶ丘ヴィータ7F「多摩ボランティア・市民活動支援センター」

●ココリア多摩センター5F「おしごとカフェ キャリア・ママ」

※特に表記のない限り、営業時間(開館時間)にお求めいただけます。

タイムテーブル

2016年2月13日(土)

① 10:20 ~ 12:07

② 13:20 ~ 15:07

トーク15:07 ~ 16:00

[ゲスト：大崎章 監督、足立紳 氏(脚本)]

③ 16:30 ~ 18:17

④ 18:50 ~ 20:37

※トークはチケット(半券含む)提示で入場できます。

※全席自由・各回入替制。開場は15分前です。

※上映時間は変更になる場合があります。

ゲスト紹介

大崎章 監督

1961年生まれ、群馬県出身。龍村仁監督に師事して、ドキュメンタリー番組、CMなどを制作。その後フリーになり、助監督として『無能の人』(竹中直人監督)、『あの夏、いちばん静かな海。』(北野武監督)、『ソナチネ』(北野武監督)、『2/デューオ』(諏訪敦彦監督)、『洗濯機は俺にまかせろ』(篠原哲雄監督)、『式日』(庵野秀明監督)、『スリ』(黒木和雄監督)、TVドラマ「私立探偵演マイク」などに携わる。『リンダリンダリンダ』(山下敦弘監督)では監督補を務めた。2006年に『キャッチボール屋』でデビュー。第16回日本映画批評家大賞 新人監督賞を受賞した。今作『お盆の弟』は、『キャッチボール屋』に続き脚本家の足立紳とタッグを組んで監督した。

足立紳 氏(脚本)

1973年生まれ、鳥取県出身。日本映画学校(現・日本映画大学)7期卒業。同期には映画監督の小沼雄一、脚本家の港岳彦がいる。映画学校卒業後、相米慎二監督に師事。演劇活動、脚本執筆、公共広告の企画など幅広く活動している。2012年に『百円の恋』で第1回松田優作賞 脚本賞グランプリ受賞、2014年に映画化(監督：武正晴)され大ヒット。第17回 菊島隆三賞受賞。



主催：TAMA 映画フォーラム実行委員会

お問合せ：080-5450-7204 (事務局直通)

042-337-6661 (永山公民館代表)

※上映当日は 070-5580-9071(会場)へ

Twitter で最新情報をフォロー
@tamaeiga

Facebook ページに「いいね!」で参加
<http://www.facebook.com/tamaeiga>



会場:多摩市立永山公民館
ベルブ永山 5F
(東京都多摩市永山 1-5)

ベルブホールは [京王相模原線・小田急多摩線]
永山駅から徒歩 2分